

日銀事務所長の あさひかわ経済 あれこれ No. 1

着任して1カ月

3月の道北地域の短観から

日も早く通常どおりの活動が行えるよう願うばかりです。

三月に日本銀行旭川事務所長として着任しました。これから月一回、この欄で皆さまにお目にかかることとなります。どうぞよろしくお願いたします。

コラム第一回目は、日本銀行旭川事務所が四月一日に公表した、道北地域の日銀短観の内容について、ご紹介いたします。

着任して約一カ月経ちましたが、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で、十分な活動ができていません。企業経営者の方々のご挨拶や意見交換も範囲を限定して慎重に行っています。一

最初に、短観でもっとも注目される業況判断DI（ディフュージョン・インデックス）を見てみます。今回はプラス15で

した。業況判断DIは、最近（または先行き）の業況について、「良い」と回答した企業の割合（%）から「悪い」と回答した企業の割合（%）を差し引いたものです。業況判断は、企業経営者の景気に対する「感じ方」を尋ねる項目で、その時々々の景気動向に敏感に反応することから景気の実態を素直に表すとされています。

業は三月中旬までに回答を済ませているため、それ以降の変化を織り込めていない可能性があります。さらに先行き三カ月後までの予測を見ると、業況判断DIは、マイナス19と大幅に悪化する見込みです。マイナス19という数字は、二〇一二年三月調査（マイナス29）以来、八年振りの低い水準です。先行きへの不安が高まっていると言えます。他のDIも見てみます。まず、雇用人員判断DIですが、マイナス46でした。引き続き、人員が不足していると考えられている企業が多い状況です。先行きも人員の不足感が増すとみている企業が相応にある一方で、足もとでは、消費関連で不

	2019年12月	2020年3月	-%ポイント 6月予測
業況 (良い — 悪い)	24	15	▲19
雇用人員 (過剰 — 不足)	▲54	▲46	▲56
仕入れ価格 (上昇 — 下落)	30	22	32
販売価格 (上昇 — 下落)	0	▲5	▲2
金融機関の貸出態度 (緩い — 厳しい)	35	36	—
資金繰り (楽である — 苦しい)	12	5	—

いく必要があります。次に、仕入価格判断DIと販売価格判断DIを見てみます。仕入価格判断DIはプラス22、販売価格判断DIはマイナス5でした。原材料や仕入れる商品の価格は上がっている

るほか、他社との競争が厳しいといった事情があるのかもしれない。さらに、企業を取り巻く金融環境を見てみます。金融機関の貸出態度判断DIは、プラス36と多い一方で、資金繰り判断DIはプラス5と、楽断DIはプラス5と、楽であるとの回答が減少しました。金融機関の積極的な融資姿勢にもかかわらず、企業の資金繰りは、業況の悪化などからタイト化の方向にあることがうかがえます。

以上見てきたように、今回の短観は悪化したと言え、そこその水準を保ちつつも、先行きへの不安を強く感じさせる内容となりました。今後の動きを注意深く見ていきたいと思ひます。

コラムのタイトルは、「あさひかわ経済あれこれ」となりました。今後、私なりに聞いて感じて旭川の姿を、あれやこれや経済の視点も交えて皆様にお伝えしていきたいと思ひます。これからもお付き合いのほど、どうぞよろしくお願ひします。

(毎月第四週に掲載します)

足感が和らいでいるとすなわち、企業も見られます。今後、こうした企業を中心に新型コロナウイルス感染症が雇用にも及ぼす影響について、注意して見て

にもかわらぬ、販売する商品の価格は上げられない、または下がっているという状況です。一部を除き、消費関連の動きが弱いことが影響してい



【大賀健司(おおがけんじ)】一九六五年神奈川県生まれ。青山学院大学法学部卒業。業務局企画役、青森支店次長、政策委員会企画役、静岡支店次長を経て二〇二〇年に旭川事務所長に就任。